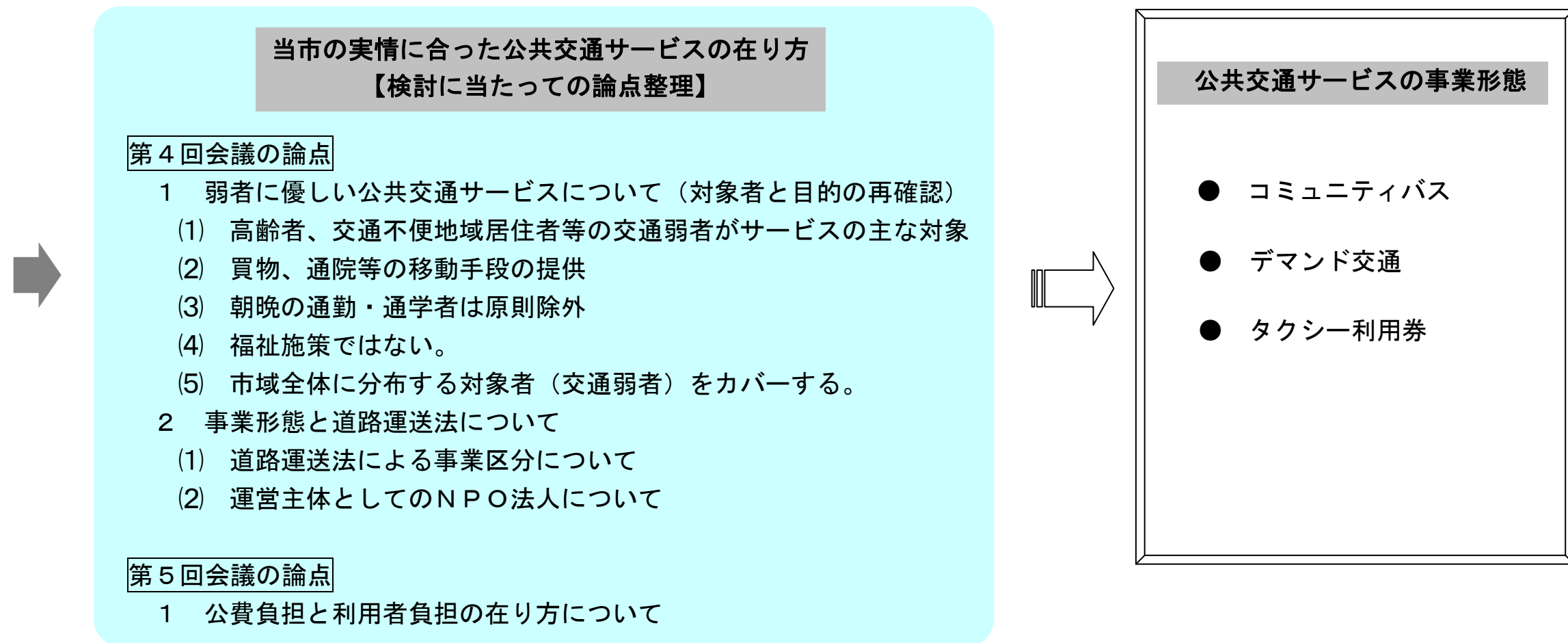
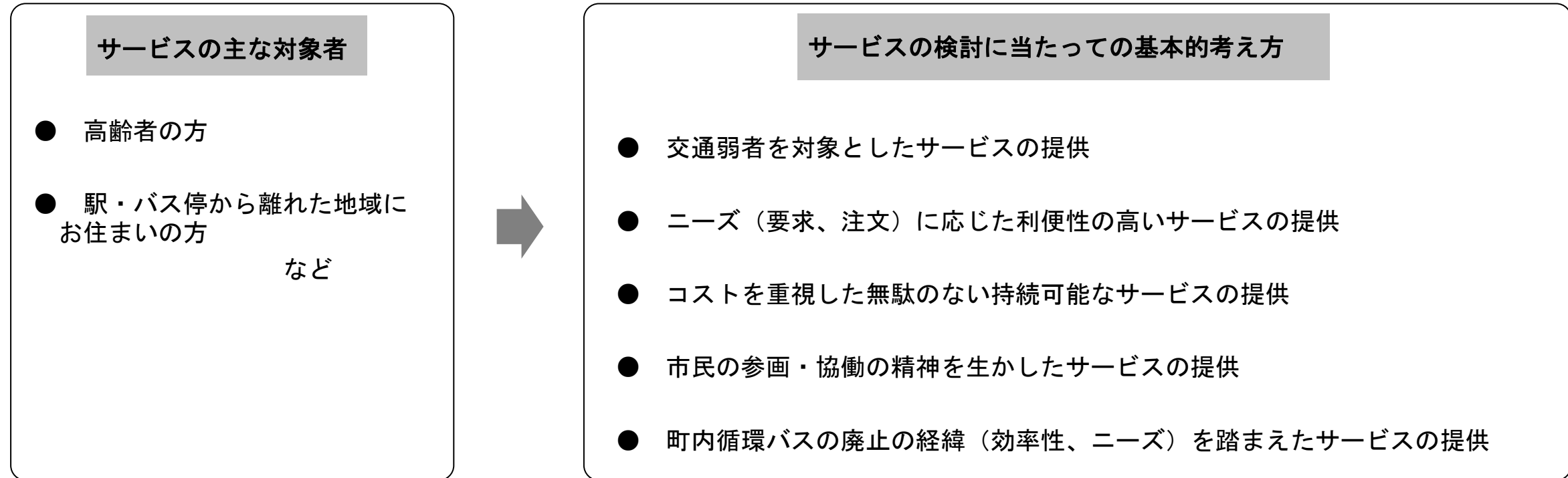


# I 弱者に優しい公共交通サービスの提供



## Ⅱ 「コミュニティバス」「デマンド交通」「タクシー利用券」の概要

	コミュニティバス (小型バス)	デマンド交通 (ワゴン型車両など)	タクシー利用券
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体が運行する民間路線バスに似た形態のバス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体等が運行する利用者の注文に応じた乗り合いの交通サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体がタクシー料金に対して一定額を助成するサービス</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行路線、バス停、時刻が決められているため、民間路線バスに似た運行形態である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約制の乗り合い方式のため、効率的な運行が可能である。</li> <li>希望する場所から目的地に移動できるため、利便性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者がタクシーを利用した際に、運賃とタクシー利用券の差額を負担することで、利用者の経済的負担が軽減される。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環型の運行形態をとるとルートや運行時間が長くなり、利用者が利用しにくくなる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り合い方式になるため、ルートや所要時間が変動する可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在実施している福祉タクシー券※の助成と整合を図る必要がある。</li> <li>※ 福祉タクシー券 対象者：重度心身障害者、補助内容：1年度24枚（初乗料金（710円）を割引） 交付者：300名、補助額：3,970,560円</li> <li>交付対象者の要件を慎重に検討する必要がある。</li> </ul>
費用負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費は、3,500万円程度の事例が多い。</li> <li>利用者負担（運賃）は、100～200円/回程度の事例が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費は、2,500万円程度の事例が多い。</li> <li>利用者負担（運賃）は、300～500円/回程度の事例が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試算 700円×48枚×500人=1,680万円（75歳以上の独居者概数）</li> </ul>
当市への適応性	<ul style="list-style-type: none"> <li>当市は、平成18年度に町内循環バスを廃止した経緯がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通弱者を対象として運行することで、効率的でニーズに合った事業を実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の市外への移動ニーズに対応できる。</li> </ul>
主な運営主体	地方自治体	地方自治体、NPO法人	地方自治体

